



# 本の読み方 平野 啓一郎

## スローリーディングの実践



「三島由紀夫の再来」と言われたデビュー作『日蝕』により、1999年当時最年少の23歳で芥川賞を受賞した平野啓一郎が、読書を趣味とする読み手として、また、表現を生業とする書き手として、読書がこれまでの何倍も楽しくなる『本の読み方』を紹介した新書。発売は2006年と約10年前。しかし古さは全く感じません。それどころか、今も変わらず共感します。新書には、すぐに鮮度が落ちる一過性の話題を扱ったものと、なかなか色褪せることのない本質をついたものがあると思えていますが、この新書は明らかに後者のうちの一冊でしょう。

近頃、子供も大人も××本を読まなくなった、と言われてます。一方で、日々洪水のように膨大な量の新刊が出版されている。本を読まなくなった人々には、何を讀まばまで、何を讀まなくてよいのか？を手取り足取り教えるように、ネットの口コミから店頭ランキング、雑誌の新刊本紹介など様々な情報が与えられます。しかし、選択の可能性が増えたといっても人が一生に読める本には限度がある。そこで、まあ話題のベストセラーでも読んでみるか、という結論に落ちついてしまうわけです。

そう、私たちがいつも「何を讀まか」ばかりを気にしており、本を「どう讀まばきなのか」については、これまでほとんど語られては来ませんでした。そこで著者がすすめるのが、タイトにもなっている「スローリーディング」です。

著者によれば、読者が本を選ぶように、本もまた読者を選ぶ。と、会話の中で、聴く気がない相手に対しては「この人に話しても仕方がない」と息を向いてしまうことがあるように、本も「なぜこの本にはこう書いてあるのだろうか？」と疑問を持たず、本と会話する

ことばかり過ぎようとする人には何も言えない……。一冊の本を価値あるものにするかは読み方次第なのだ。と。今やネット検索の時代であり、讀んだ本の卷数、単なる物知りであることには何の意味もなくなってしまう。言葉を深く理解し、イザを感じながら、奥へ、更に奥へと言葉の森を分け入りながら、本を讀む。かつて「面白くない」と感じた本も、何年後の自分には人間的な厚みを与えてくれる素晴らしい本かもしれない。そんな風に、本との出会いを一期一会ではなく、もっと長いスパンで考える。情報が氾濫する時代だからこそ、「量の読書」は終わりにしよう——。そんな強いメッセージが伝わってきます。

そして後半は著者が普段実際に行っている「スローリーディング」を実践していく、という構成。夏目漱石『こころ』や三島由紀夫の『金閣寺』から自作の『葬送』まで、古今の名作を題材として、芥川賞作家が解説をつける、というのだから、面白くない訳がない。どんなところで違和感を感じ、どんな表現や仕掛けに注目し、何を思考しているのか。補助線や書き込みを入れながら讀む方法も紹介されており、ちょっと試してみようかという気になります。

小説とは、私たちの人生にふいに侵入してくる一種の異物だ。という。自分にとって大切な本の世界の中で、またたく別の人生を体験する。読書は讀み終わった時が本当の始まり。ページをめくりながら自分なりに考え、感じたことを、あなたは自分の人生に生かしていくのか。

さあ、かけがえのない、自分のための読書をはじめませんか。

(PHP新書、778円)

**Book FAIR**  
1

**本の森セルバ、岡山一番街に期間限定出店!**

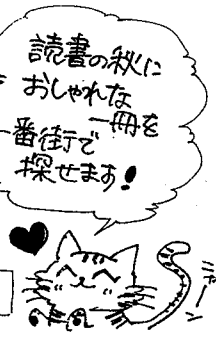
10月26日(月)~30日(金) @ 岡山一番街ハルカ広場

- アート文芸
- 女性雑誌バックナンバー
- アートエロクシオン
- 隠れた名著
- 女性のライフスタイル
- 大人の塗り絵・ペーパーブック



「笑文字」の創始者・廣江まこみんサイン会は10月29日(木)16:00~18:00 先着50名様!

猫本



# ゼロからトースターを 作ってみた結果



トーストウェイツ 新潮文庫 810円

私たちは、自分たちを囲む、あの  
ビバビバな電化製品がいついそどこから来ているのかについて、ほとんども知らない。一般消費者にとって、例えば「トースター」の一生は店舗の商品棚で誰かが買ってってくれるのを待つところから始まる。でも、このトースターもつい数ヶ月前までは石ころや油だつた。いったい、どうやらたら石ころがトースターになるんだ？

この素朴かつ根源的な疑問から、著者は大学の卒業製作で「ゼロからトースターを作ってみる」という雑間に挑むことになる。…産業革命以前に使われていたものと「基本的に変わらない」道具を使って、自分の力でトースターを作る。鉱山に赴き、鉄鉱石を集め、どうにかして鉄を抽出し、それをまたどうにかして鋼鉄に変えなければならぬ。マイカ、銅、ニッケルも同じだ。プラスチックの筐体の分子を精製するために、原油も手に入れたければ…！イギリス全土で材料獲得旅行と壮大な実験を(自宅の庭で)繰り返す著者は、果たして本当にトースターを作り上げることが出来るのか？！

たが店頭に並んでいるその製品が、いかに多くの意味を持っているか。今や自分たちの使う物を個人の能力では作り出せなくなってしまう現代人に送る。ゆえに、そしておおと考えさせられる。汗と笑いのドキュメンタリー。

完全にタイトリビタ見での衝動買いでしんが、当たりでした！著者の好きな本→ダグラス・アダムスの『銀河ヒッチハイクシリーズ』読みたいたい。こうして読みたい本が繋がっていくのも、読書の楽しいところですね。

**BOOK FAIR**  
**2**  
**古書コーナー  
リニューアル**  
◎岡山店★  
11月13日(金)~12月25日(金)  
**古書ALL20%OFF!**  
(除外品あり)

## セバ売上Ranking 2015年10月



1. 幸せはあなたの心が決める 渡辺和子/PHP研究所、1,080円
2. 新しい道徳「いかにとあると気持ちがいい」のはなぜか 北野武/幻冬舎 1,080円
3. 火花 又吉直樹/文藝春秋 1,296円
4. 君の臍臓をたべたい 住野よる/双葉社、1,512円
5. 人間の分際 曾野綾子/幻冬舎 864円
6. 未来は変えられる! 試験に強くなる「オクス発想術」 高橋佳子/三笠出版、1,620円
7. 大放言 百田尚樹/新潮社、821円



1. 天空の蜂 東野圭吾/講談社、918円
2. よりぬき陰陽師 夢枕樸/文藝春秋、688円
3. しんがり 山一證券最後の12人 清武英利/講談社、972円
4. 吉原裏同心23 狐舞 佐伯泰英/光文社、648円
5. 心が叫びたがってるんだ 豊田美加/小学館 734円
6. ロスジェネの逆襲 池井戸潤/文藝春秋 766円



◆ 文芸 『下町ロケット2 ガウディ計画』池井戸潤/小学館、1,620円(11月5日発売予定)/現在、TBS日曜劇場にて阿部寛主演ドラマ放送中の直木賞受賞作に待望の続編登場!ロケットエンジンのパルブシステムの開発により、倒産の危機を切り抜けてから数年、大田区の町工場・佃製作所はまたしてもピンチに陥っていた。そんな折、社長・佃航平の元にかつての部下から、ある医療機器の開発依頼が持ち込まれる。その部品があるから救われる命がある。ロケットから人体へ——。医療界に蔓延する様々な問題点や、地位や名誉に群がる者たちの妨害が立ち塞がる中、佃製作所の新たな挑戦が今始まる!ドラマとあわせて是非どうぞ。◆ 実用 『ラクラク楽しい!家事の基本大事典』成美堂出版編集部編/成美堂出版、1,620円(11月中旬発売予定)/新米主婦にとって不安だらけの家事がしかりこなせる保身版の一冊…というのが出版社の売り文句だが、主婦だけでなく一人暮らしをはじめ予定の方にも役立つような掃除・洗濯・炊事・収納の基本から裏ワザまでを写真付きで徹底解説した一冊。◆ ビジネス 『これからの日本の論点、日経大予測2016』日本経済新聞出版社/編/日本経済新聞出版社、1,944円(10月26日発売予定)/憲法改正へのシナリオとは?中国バブル崩壊の影響は?IoTで日本の製造業が衰退する?日本の明日を左右する重大問題について、日経の編集委員が大胆予測。深く、丁寧に日本の将来を見通します。



岡山店(ドレミの街5F) 10:00~20:00/電話 086-234-6006 / FAX 086-234-6003  
X-IV hselva@po.harenet.ne.jp / ホームページ http://www.e-hon.ne.jp/SHOP72050  
西口店(秦運町商店街内) 9:30~18:00、日曜休/電話 086-250-4301 / FAX 086-250-4316  
ホームページ http://www.e-hon.ne.jp/SHOP72059  
さんぽ岡山店 8:00~20:00/電話、FAX 086-803-2650 / X-IV pselva@po.harenet.ne.jp